



# 栗原小だより

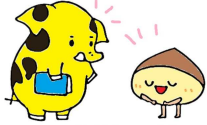
新座市栗原 1-5-1 Tel. 042-473-7070  
HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>

～学校教育目標～

よく考え学ぶ子  
心のゆたかな子  
たくましい子

令和元年度 1月号

令和2年 1月8日



## 新しい年、グローバルな視点をもつ

校長 保戸田 雅之

新年、明けましておめでとうございます。  
穏やかな晴天に恵まれた今年のお正月、保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに迎えられたことと存じます。

新年を迎えると、誰もが「今年こそは〇〇をがんばろう」というように、一年の抱負や決意を持つものですが、お正月が終わり、いつの間にかそれらが薄れてしまいがちです。

そうなることなく、子供たちの夢や希望が少しでも叶えられるよう、家庭・地域・学校が共に支え合っていることを願っています。引き続き、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### グローバルな視点で

今から25年以上も前のことですが、私は、アメリカの一般家庭に3、4日ホームステイをしたことがあります。夕食後の団らんで、「何でもいいから日本のことを教えてほしい」と言われ、とても困ってしまいました。ほとんど英語が話せないの、うまく伝えられないのはもちろんですが、何を話したらよいかさごく悩んでしまいました。(結局、スケッチブックに簡単な絵を描いて、「ももたろう」の昔話を教えました。)

今年の夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中からたくさんの方が来日します。新座市は、ブラジルのホストタウンとして選手団を迎えます。

国際社会を生きる上で、子供たちには、まず、日本の伝統や文化について知ってほしいと思います。そんな考えで、2学期の終業式に「年末年始について知る」という宿題を出しました。「なぜ年越しそばを食べるのか」「お年玉は外国にもあるのか」「なぜお正月というのか」など、日本に住んでいて当たり前になっていることが、本当はどんな意味を持つのか、疑問を持って調べてほしいという宿題で

す。今朝の始業式では、宿題の確認ということで、いくつかの年末年始クイズを出しました。

自分が生まれ育った国の文化を理解し、「日本はこういう国です。」と伝えられることが、外国の方に対する本当の「おもてなし」であると思います。

もう一つ、4月には新学習指導要領が全面実施となり、大きな転換期を迎えます。外国語が5、6年生の新教科になります。国際化はどんどん進み、それに対応できる資質がますます求められます。

語学力も含め、様々な人と適切にコミュニケーションがとれる能力や、自己の考えをしっかりと主張できる力を身につけなければなりません。本校では、昨年度までの3年間研究に取り組んできた「話し合い活動」をベースに、どの教科でも主体的で対話的な学習が展開されるよう努力しています。今年も、今まで以上に「同じで～す。」ではなく、「私はこう思います。」にこだわって行きたいと考えます。

日本の伝統や文化を理解することも、コミュニケーション能力や自己判断力の育成も、学校教育だけでは到底成り立ちません。地域社会や家庭で育まれるものも多くあります。コミュニティ・スクール栗原小として、より一層の連携を図ってまいりましょう。

### 約束できていますか？

小学生においても、スマートフォンやパソコンのネットワーク利用によるトラブルが多く聞かれるようになってきました。

各ご家庭では、利用についての約束がされているでしょうか。

埼玉県教育委員会HPに、「埼玉県ネットトラブル注意報」という名称で、様々な事例が紹介されています。お子様が、ネットトラブルに巻き込まれることのないよう、HPを参考に、ご家庭で話し合いをしてみたいかがでしょうか。